

2026九州北(福岡・佐賀・長崎・大分)寮歌祭 開催報告

報告者：S55 横田喜一郎

開催日：2026年3月21日(土)16:00~18:00

場所：JR久留米駅前_居酒屋『花一』

参加者：13名 = (恵迪OB(九州北7+広島1))+(北大佐賀県支部長1)+(九工大4) = 13

気象庁の今春の桜の開花予想はズバリ当たり、この日は好天にも恵まれました。

観桜は、例年通り、各自が事前に(小生の場合、駅前の日吉神社にて↓)済ませました。



2018年秋以来、度々お世話になってきた『花一』に、今年も有志が集結。

(参考：<https://www.keiteki-ob.jp/info/九州北第2回交流会%E3%80%80開催報告/>)

小生は今春も、店内奥座敷手前に“関所”を設け、参加諸兄を接遇。

会費¥6000を徴収&__席順決めのクジを引いてもらいました。

定刻前に集結が完了。まずは集合写真の撮影を呼び掛け、玄関前に移動。



(小生デジカメの時刻設定(誤)には“遅れ”が有り、写り込み時刻+18分が(正))

今までの寮歌祭との、一番の違いは、

九州工業大学(オレンジ色の法被着用)の有志4名(後述)の、応援参加を得たことです。

彼等とは、小生、既に昨年秋に一度出逢っており、再会を祈念しておりました故、

本会にて無事、再会が実現できて感無量です。

参加13名；敬称略(恵迪OBには慣習上、(入寮S年度)を適用)

(後列左からの8名)

- ・鷹地広久 (S55・文・言語) __福岡
- ・高嶋博義 (S55・法・法) __福岡
- ・福本洋一 (S52・水・食品) __福岡
- ・横田喜一郎 (S55・水・化学(院)) __大分
- ・【北大】大宅公一郎 (S52 卒・農) __佐賀 (北大同窓会・佐賀県支部長)
- ・清水太 (S53・理・地鉱) __大分
- ・【九工大】福島裕充 (S52 卒・工・金属) __佐賀支部長
- ・長尾博 (S51・工・合成) __広島 (恵迪寮同窓会・広島地区常任幹事)
(前列左からの5名)
- ・田坂幸平 (S51・農・農工) __福岡
- ・鈴木修六 (S39・農・農化) __福岡
- ・【九工大】土器勉 (S59 卒・工・電気(院)) __福岡
- ・【九工大】武下直樹 (H29 卒・工・応化) __北九州
- ・【九工大】秀島昌慎 (S53 卒・工・開土) __佐賀

内情；

会誌『恵迪』を郵送で受け取る卒寮生（同窓会本体が2024年名簿で管理）の内、住所既知≡往復ハガキの発送が可、であった九州北ブロック在住の65名OB/OGに宛て、「ブロック幹事(小生)は、今後の連絡をe-mailのみに絞ろうと企てている旨」& 「もし今後のブロック活動の連絡を希望しない場合、その旨□にチェック入れて下さい」とも書き添えた連絡用の往復葉書を、2025年2月に小生が発送（返信率約6割）。

今春、その結果を反映させ、2026年2月、25名に宛て、e-mailで開催案内を出しました。（参加返信6(+小生1)+欠返信3+リターン無し15=25名）。

（今回も恵迪寮同窓会本体からの来賓参加を希望した故、別途、各幹事にもe-mailを送信）札幌の地では、北大と小樽商科大の卒業生が親睦を深め合っているとも聴き及んでいたもので、「それならば我がブロックも」& 「参加者の増加策はコレだ」と思い至り！

大宅先輩経由で、九工大にも応援参加を要請した次第です。

さて、北大同窓会・佐賀県支部長であられる大宅先輩

（ご本人の意向確認を経て、以後、本稿中では「大宅支部長」と呼称）は、本年2026年11月21日(土)に開催予定の「佐賀県青春寮歌祭」の運営に尽力されており、現在、「佐賀県青春寮歌祭」のオリジナル・ホームページを鋭意作成中。それに掲載予定の集合写真(↓)を、別途、もう一枚撮影。



店内に戻り、いよいよ開演・乾杯。

九工大の諸氏も居られることを念頭に、まずは小生が乾杯直後から開会スピーチを開始。

“校友会エルム”発行の冊子“エルムだより”に掲載された“まるわかりガイド”という資料、
(右記 URL でダウンロード可 <https://www.alumni-hokudai.jp/magazine/pdf/202503.pdf>)
・・・のカラーコピー (↓) を配布して、その資料に基づきながら、



「北大には同窓会が何種類もあり、恵迪寮同窓会は、そのウチの一つにしかすぎなくて・・・」
「当然、学部毎に同窓会が有り、コレだと今、何処に住んでいるかは関係がなくて・・・」
「しかし、今、何処に住んでいるかで、地区毎にも同窓会（学部は関係なし）が有って・・・」
「そして、これら以外にも、様々な種類の同窓会が、あちこちに多々有る」
「(小生の場合『恵迪』以外に) 水産学部“親潮”と関西同窓会“Be ambitious”が今も毎年届く」
などと話しました。九工大の諸氏から、「うんうん」とのレスが頂けたのは嬉しかったです。

次は、お馴染み「3分スピーチ」。そのトップは、流れで小生が継続し。

「大学への志望動機」や「学生時代の思い出」などを、ギリ3分程度でスピーチ。

二番手は、元々、大宅支部長にお願いしておいた故、下記のスピーチ（概略）を頂きました。

日 時 令和7年11月15日(土)
13時00分～17時30分 (入場無料)

場 所 佐賀市交流センター「エスプラッツホール」

後 援 佐賀新聞社 サガテレビ エフエム佐賀
ぶんぶんテレビ NBCラジオ

(参加者全員に配布の上掲パンフに基づきながら)

☆昨年秋(2025/11/15)に、「第33回・佐賀県青春寮歌祭」を開催した(ちなみに小生も参加)

☆『寮歌は老化を駆逐する』ちゅう“合言葉”は、やっぱ、よかつちゃね～

☆今年秋(2026/11/21)も第34回をやる。恵迪OB諸兄も、応援参加、宜しくお願いします。

☆「参加各校の垣根を越えねば」の旨は、既に佐賀新聞(2026/3/2版)に寄稿(掲載実現)済み。
このスピーチのお陰を持ちまして、「九工大の諸氏も何故今ここに居るのか?」との疑問は氷解。
恵迪OB諸氏よりも先に、九工大の諸氏4名が、スピーチを終えてしまいました。

後は、クジ順で恵迪OB諸氏から「3分スピーチ」を頂きました。



限られた120分の中、『花一』好例、北海道から取り寄せたジンギスカン(&ベルたれ)が登場。
スピーチを一時中断させて、皆でメインディッシュを食した也。



終演までに、かなりの時間が確保できた故、17時過ぎ～校歌と寮歌の熱唱タイムに移行。
本会の企画段階から、「都でべ」と大宅支部長とは話が付いていた故、まず九工大に出番を要請。



九州工業大学の学歌（西條八十作詞），および寮歌「緑の森」の歌唱がスタート。



彼の「都ぞ弥生(1,2,5 番)」の前から，既に全員は起立し，熱唱の一時を堪能していた也。



幸い，終演予定時刻よりもかなり前に，両校の熱唱合戦を終えていた故，更にしばし歓談。



18:00 終演. 早上がりの諸兄数名を店内にて見送り，
有志数名以上が，同店内の別席に移り（店外には桜を観に行かずに），二次会。
「本年 2026 年 11 月 21 日(土)の佐賀県青春寮歌祭の作戦会議をしようではないか」
との名目の元，更に酒を酌み交わして親睦を深め，寮歌祭を終えました。

以上